



一般会計・特別会計の決算報告



平成 24 年度の「一般会計」「特別会計」の決算を報告します。

◎一般会計の決算

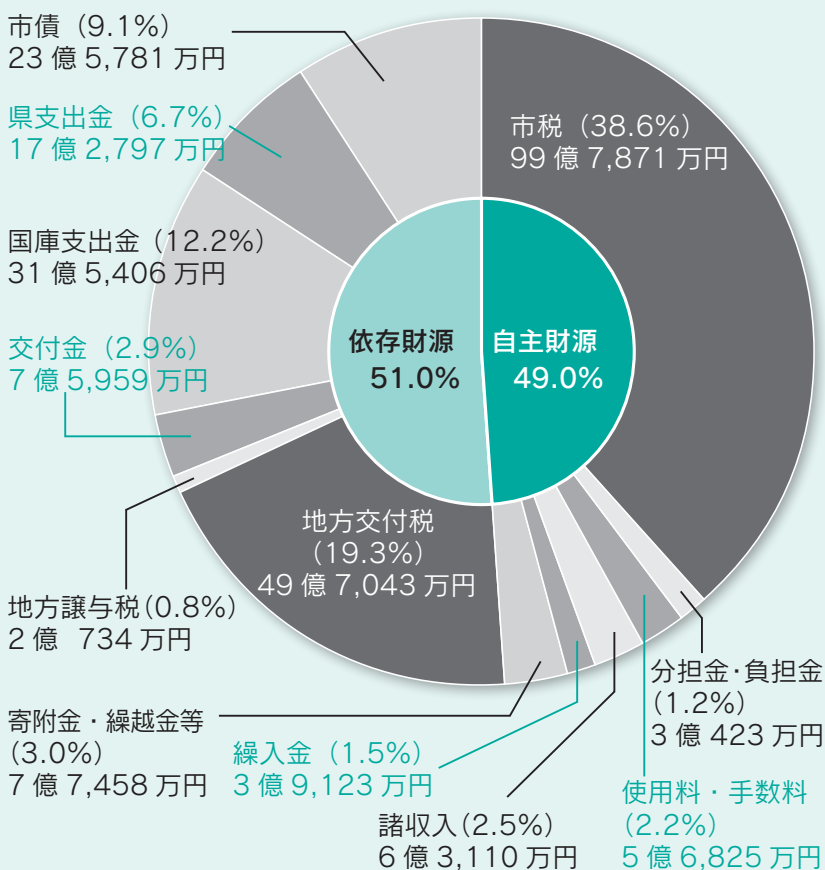
【歳入の主な増減】

市税…法人市民税や固定資産税の減などにより 3 億 1,338 万円の減額

国庫支出金…普通建設事業費の減などにより 3 億 6,301 万円の減額

市債…市債発行の減により 12 億 3,041 万円の減額

歳入：258 億 2,530 万円



用語解説

自主財源

市税や施設使用料など、市が国に依存することなく自ら調達することができる財源です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金など一定の基準に基づき、国や県から交付される財源です。

地方交付税

市の財政力に応じて、国から交付されるお金です。

市債

事業を行うために、市が国や金融機関から借り入れるお金です。

義務的経費

歳出のうち、その支出が義務付けられている経費です。この割合が高いほど、新たな事業などに使えるお金が少なくなります。

投資的経費

道路、橋りょう、学校、公共施設の整備等、将来に残るものに対して支出される経費です。

補助費等

一部事務組合に対する負担金や各種公益団体に対する補助金などの経費です。

繰出金

一般会計から特別会計へ支出される経費です。

◎特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
訪問看護ステーション事業	6,422 万円	6,422 万円
駐車場事業	3,141 万円	2,453 万円
国民健康保険	79 億 8,321 万円	75 億 3,032 万円
介護保険	53 億 6,724 万円	52 億 6,458 万円
後期高齢者医療	9 億 44 万円	8 億 9,982 万円
地方卸売市場事業	857 万円	842 万円
下水道事業	28 億 1,786 万円	27 億 9,993 万円
農業集落排水事業	8,456 万円	8,452 万円
小型自動車競走事業	80 億 8,487 万円	86 億 3,631 万円